様式２

国立大学法人徳島大学の中期目標（又は中期計画）新旧対照表

<table>
<tr><th>現　　行</th><th>変 更 案</th><th>変更理由</th></tr>
<tr>
<td>
Ⅰ　教育研究の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置
１　社会との共創に関する目標を達成するための措置
・【1-1】多様な学びの場の提供と、地域人材の育成
県内の高等教育機関、地方公共団体及び経済団体の16機関で組織する「とくしま産学官連携プラットフォーム」とCOC+事業の継続実施及びCOC+R事業実施のため高等教育機関、地方公共団体、経済団体及び企業等の52機関で組織する「コンソーシアムとくしま」等の産学官連携組織における役割分担の明確化及び産業人材育成のための体制整備により、地域ニーズの集積・分析を踏まえたリカレント教育の充実・高度化及び産業人材の育成に取り組み、学生や就業者、一般社会人等に提供する多様な学びの場を創出する。
<table>
<tr><td>評価指標</td><td>【1-1-1】産官学連携組織による連携事業の進行を図る（第３期実績に比して３件以上増）〔第４期中期目標期間 最終年度〕
※第３期実績（暫定）　３件（令和２年度まで）</td></tr>
<tr><td>評価指標</td><td>【1-1-2】社会人の学び直しのためのリカレント教育の修了者数（第３期実績に比して10％増）〔第４期中期目標期間 最終年度〕
※第３期実績（暫定）延べ275人（令和２年度まで）</td></tr>
<tr><td>評価指標</td><td>【1-1-3】アントレプレナー教育を受けた学生・社会人による起業等件数（第３期実績に比して10％増）〔第４期中期目標期間 最終年度〕
※第３期実績（暫定）42件（令和２年度まで）</td></tr>
</table>
</td>
<td>
Ⅰ　教育研究の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置
１　社会との共創に関する目標を達成するための措置
・【1-1】多様な学びの場の提供と、地域人材の育成
県内の高等教育機関、地方公共団体及び経済団体の16機関で組織する「とくしま産学官連携プラットフォーム」とCOC+事業の継続実施及びCOC+R事業実施のため高等教育機関、地方公共団体、経済団体及び企業等の52機関で組織する「コンソーシアムとくしま」等の産学官連携組織における役割分担の明確化及び産業人材育成のための体制整備により、地域ニーズの集積・分析を踏まえたリカレント教育の充実・高度化及び産業人材の育成に取り組み、学生や就業者、一般社会人等に提供する多様な学びの場を創出する。
<table>
<tr><td>評価指標</td><td>【1-1-1】産官学連携組織による連携事業の進行を図る（第３期実績に比して３件以上増）〔第４期中期目標期間 最終年度〕
※第３期実績　３件</td></tr>
<tr><td>評価指標</td><td>【1-1-2】社会人の学び直しのためのリカレント教育の修了者数（第３期実績に比して10％増）〔第４期中期目標期間 最終年度〕
※第３期実績　延べ328人</td></tr>
<tr><td>評価指標</td><td>【1-1-3】アントレプレナー教育を受けた学生・社会人による起業等件数（第３期実績に比して10％増）〔第４期中期目標期間 最終年度〕
※第３期実績　54件</td></tr>
</table>
</td>
<td>
・評価指標の基準値のうち、暫定値を記載していた第３期実績について、確定値に変更を行うため。
</td>
</tr>
</table>

<table>
<tr>
<td>

・【1-3】高度な専門技能を有する地域医療人の育成

クリニカルアナトミー教育・研究センター、看護師特定行為研修センター及び看護リカレント教育センターにおける教育プログラムにより、高度な専門技能を有する医療人育成のための実践的なリカレント教育に取り組むとともに、徳島県地域医療センターをはじめ、県下の医療機関との連携のもと、強固な地域医療体制はもとより、東南海地震やウイルス感染症拡大に対応できる災害時医療体制の構築にも寄与する。

<table>
<tr><td>評価指標</td><td>【1-3-1】低侵襲手術トレーニングの参加者数（年間30人）〔第４期中期目標期間中 毎年度〕
※地域医療機関からの参加者のみを計上
※第３期実績（暫定）年間25人（令和２年度まで）</td></tr>
<tr><td>評価指標</td><td>【1-3-2】看護師特定行為研修受講者数（年間３人）〔第４期中期目標期間中 毎年度〕
※地域医療機関からの受講者のみを計上
※第３期実績 年間３人（令和３年度より事業開始）</td></tr>
<tr><td>評価指標</td><td>【1-3-3】認定看護師教育課程在宅ケア分野受講者数（30人以上）〔第４期中期目標期間中累計〕
※地域医療機関等からの受講者のみを計上
※第３期実績 11人</td></tr>
<tr><td>評価指標</td><td>【1-3-4】地域枠医師の配置数（500人以上）〔第４期中期目標期間 最終年度〕
※地域医療機関における業務従事期間の医師のみを計上
※第３期実績 延べ252人</td></tr>
</table>

</td>
<td>

・【1-3】高度な専門技能を有する地域医療人の育成

クリニカルアナトミー教育・研究センター、看護師特定行為研修センター及び看護リカレント教育センターにおける教育プログラムにより、高度な専門技能を有する医療人育成のための実践的なリカレント教育に取り組むとともに、徳島県地域医療センターをはじめ、県下の医療機関との連携のもと、強固な地域医療体制はもとより、東南海地震やウイルス感染症拡大に対応できる災害時医療体制の構築にも寄与する。

<table>
<tr><td>評価指標</td><td>【1-3-1】低侵襲手術トレーニングの参加者数（年間30人）〔第４期中期目標期間中 毎年度〕
※地域医療機関からの参加者のみを計上
※第３期実績年間27人</td></tr>
<tr><td>評価指標</td><td>【1-3-2】看護師特定行為研修受講者数（年間３人）〔第４期中期目標期間中 毎年度〕
※地域医療機関からの受講者のみを計上
※第３期実績 年間３人（令和３年度より事業開始）</td></tr>
<tr><td>評価指標</td><td>【1-3-3】認定看護師教育課程在宅ケア分野受講者数（30人以上）〔第４期中期目標期間中累計〕
※地域医療機関等からの受講者のみを計上
※第３期実績 11人</td></tr>
<tr><td>評価指標</td><td>【1-3-4】地域枠医師の配置数（500人以上）〔第４期中期目標期間 最終年度〕
※地域医療機関における業務従事期間の医師のみを計上
※第３期実績 延べ252人</td></tr>
</table>

</td>
<td>

・評価指標の基準値のうち、暫定値を記載していた第３期実績について、確定値に変更を行うため。

</td>
</tr>
</table>

<table>
<tr>
<td>

・【1-4】地域課題解決のための共創実践とオープンイノベーションを活性化させる。

世界を先導する地域産業の振興・創出に加え、地域の課題解決に向けた自治体・地域団体・企業・NPOと連携した協働の取組を拡充・実施して、持続可能な地方大学に求められる特徴的な産学共創システム（地域の独自性・強みに基づく産学官共創拠点）を構築し、共創実践とオープンイノベーションを活性化させる。

そのための方策として、本学を核とした自治体・企業等と締結した協定、共創の場形成支援プログラムの実施及びバイオイノベーション研究所の活動により形成してきたネットワークを基盤として、地域課題、社会ニーズを抽出し、その課題解決を本学の教育・研究成果の事業化、イノベーション創出により、実現する。また、新たな産業を生み出し、企業の新産業拠点設置や雇用促進を創出する仕組みを構築・推進する。

<table>
<tr><td>評価指標</td><td>【1-4-1】共同研究数・受託研究数（第３期実績以上）〔第４期中期目標期間中累計〕
※第３期実績（暫定）（令和２年度まで）
共同研究 1,470 件
受託研究 958 件</td></tr>
<tr><td>評価指標</td><td>【1-4-2】大学発ベンチャー企業創出数（年１社以上）
※第３期実績（暫定）19社（令和２年度まで）</td></tr>
<tr><td>評価指標</td><td>【1-4-3】大学発ベンチャー雇用創出数（雇用者数累計：150人以上）〔第４期中期目標期間最終年度〕
※第３期実績（暫定）累計113人（令和２年度まで）</td></tr>
</table>

</td>
<td>

・【1-4】地域課題解決のための共創実践とオープンイノベーションを活性化させる。

世界を先導する地域産業の振興・創出に加え、地域の課題解決に向けた自治体・地域団体・企業・NPOと連携した協働の取組を拡充・実施して、持続可能な地方大学に求められる特徴的な産学共創システム（地域の独自性・強みに基づく産学官共創拠点）を構築し、共創実践とオープンイノベーションを活性化させる。

そのための方策として、本学を核とした自治体・企業等と締結した協定、共創の場形成支援プログラムの実施及びバイオイノベーション研究所の活動により形成してきたネットワークを基盤として、地域課題、社会ニーズを抽出し、その課題解決を本学の教育・研究成果の事業化、イノベーション創出により、実現する。また、新たな産業を生み出し、企業の新産業拠点設置や雇用促進を創出する仕組みを構築・推進する。

<table>
<tr><td>評価指標</td><td>【1-4-1】共同研究数・受託研究数（第３期実績以上）〔第４期中期目標期間中累計〕
※第３期実績
共同研究 1,775 件
受託研究 1,159 件</td></tr>
<tr><td>評価指標</td><td>【1-4-2】大学発ベンチャー企業創出数（年１社以上）
※第３期実績 23社</td></tr>
<tr><td>評価指標</td><td>【1-4-3】大学発ベンチャー雇用創出数（雇用者数累計：150人以上）〔第４期中期目標期間最終年度〕
※第３期実績累計113人</td></tr>
</table>

</td>
<td>

・評価指標の基準値のうち、暫定値を記載していた第３期実績について、確定値に変更を行うため。

</td>
</tr>
</table>

<table>
<tr>
<td>

・【1-5】「魅力的な大学づくり」と「光関連産業の振興」、「医光融合研究の推進」を図り、「“光”を目指して若者が集う徳島」を目指す。

徳島県では全国を上回る速度で急速に少子化、高齢化が進行し、次世代の担い手不足等の課題が深刻化している。こうした状況を打破するため、あらゆる光を駆使したボーダレスフォトニクス研究（光・ＬＥＤ）と医光融合研究を推進するとともに、徳島県が定めた次世代の光が持つ可能性を活かし、新産業の創出と優れた研究開発の好循環を目指す「次世代ＬＥＤバレイ構想」の下、150社を超える光関連企業が集積している本県の強みを生かし、ポストＬＥＤフォトニクス研究所を中核として、次世代ＬＥＤの研究や、それを用いた医療・農業等、様々な応用分野でグローバルに競争力を有する拠点を構築する。

<table>
<tr><td>評価指標</td><td>【1-5-1】光工学、医光融合研究等光に関連する研究分野の共同研究・受託研究数（第３期実績以上）〔第４期中期目標期間中累計〕
※第３期実績（暫定）22件（令和２年度まで）</td></tr>
<tr><td>評価指標</td><td>【1-5-2】光工学、医光融合研究等光に関連する研究分野の特許出願数（第３期実績以上）〔第４期中期目標期間中累計〕
※第３期実績（暫定）11件（令和２年度まで）</td></tr>
</table>

</td>
<td>

・【1-5】「魅力的な大学づくり」と「光関連産業の振興」、「医光融合研究の推進」を図り、「“光”を目指して若者が集う徳島」を目指す。

徳島県では全国を上回る速度で急速に少子化、高齢化が進行し、次世代の担い手不足等の課題が深刻化している。こうした状況を打破するため、あらゆる光を駆使したボーダレスフォトニクス研究（光・ＬＥＤ）と医光融合研究を推進するとともに、徳島県が定めた次世代の光が持つ可能性を活かし、新産業の創出と優れた研究開発の好循環を目指す「次世代ＬＥＤバレイ構想」の下、150社を超える光関連企業が集積している本県の強みを生かし、ポストＬＥＤフォトニクス研究所を中核として、次世代ＬＥＤの研究や、それを用いた医療・農業等、様々な応用分野でグローバルに競争力を有する拠点を構築する。

<table>
<tr><td>評価指標</td><td>【1-5-1】光工学、医光融合研究等光に関連する研究分野の共同研究・受託研究数（第３期実績以上）〔第４期中期目標期間中累計〕
※第３期実績 31件</td></tr>
<tr><td>評価指標</td><td>【1-5-2】光工学、医光融合研究等光に関連する研究分野の特許出願数（第３期実績以上）〔第４期中期目標期間中累計〕
※第３期実績 17件</td></tr>
</table>

</td>
<td>

・評価指標の基準値のうち、暫定値を記載していた第３期実績について、確定値に変更を行うため。

</td>
</tr>
</table>

<table>
<tr>
<td>

・【2-1】SDGs等の社会的要求度の高い産業課題・地域課題解決のため、本学での教育研究により生み出された知的資産を活用し、社会実装を進める。

研究成果の中から潜在的価値を見極め、中期的な視点により基本特許となる出願を促進するとともに、国内外の企業やベンチャーをはじめ、幅広いチャネルを活用した技術移転活動を促進するため、本学の知的財産活用戦略で定めた５つの地域戦略を核として、積極的に研究成果の社会還元を進める。

さらに、徳島大学発ベンチャー支援を目的として設立された(株)産学連携キャピタルを活用し、人的・財政的投資とハンズオン支援を得ながら新産業を創出する好循環システムを確立する。

<table>
<tr><td>評価指標</td><td>【2-1-1】知的財産収入（第３期実績以上）
〔第４期中期目標期間中累計〕
※第３期実績（暫定）336,717千円（令和２年度まで）</td></tr>
</table>

</td>
<td>

・【2-1】SDGs等の社会的要求度の高い産業課題・地域課題解決のため、本学での教育研究により生み出された知的資産を活用し、社会実装を進める。

研究成果の中から潜在的価値を見極め、中期的な視点により基本特許となる出願を促進するとともに、国内外の企業やベンチャーをはじめ、幅広いチャネルを活用した技術移転活動を促進するため、本学の知的財産活用戦略で定めた５つの地域戦略を核として、積極的に研究成果の社会還元を進める。

さらに、徳島大学発ベンチャー支援を目的として設立された(株)産学連携キャピタルを活用し、人的・財政的投資とハンズオン支援を得ながら新産業を創出する好循環システムを確立する。

<table>
<tr><td>評価指標</td><td>【2-1-1】知的財産収入（第３期実績以上）
〔第４期中期目標期間中累計〕
※第３期実績 381,886千円</td></tr>
</table>

</td>
<td>

・評価指標の基準値のうち、暫定値を記載していた第３期実績について、確定値に変更を行うため。

</td>
</tr>
</table>

<table>
<tr>
<td>・【5-2】イノベーション教育、アントレプレナーシップ教育を充実し、新しい価値を創造し、社会の課題を解決する力を身に付けた人材を養成する。
第３期中期目標期間において進めてきたイノベーション教育、アントレプレナーシップ教育の教育プログラムや実施体制を検証し、学内の連携体制を強化するとともに外部の専門家らと協力し、デザイン思考をはじめとする新しい価値を提供するための素養を身に付けるためのイノベーション教育と、新しい価値を実現するためのアントレプレナーシップ教育を充実させる。
<table><tr><td>評価指標</td><td>【5-2-1】国内外のデザイン思考を用いたアイデアコンペやビジネスプランコンテスト等（デザイン思考コンテスト等）の入賞数（延べ50件）〔第４期中期目標期間中累計〕
※第３期実績（暫定）延べ25件（令和２年度まで）</td></tr></table></td>
<td>・【5-2】イノベーション教育、アントレプレナーシップ教育を充実し、新しい価値を創造し、社会の課題を解決する力を身に付けた人材を養成する。
第３期中期目標期間において進めてきたイノベーション教育、アントレプレナーシップ教育の教育プログラムや実施体制を検証し、学内の連携体制を強化するとともに外部の専門家らと協力し、デザイン思考をはじめとする新しい価値を提供するための素養を身に付けるためのイノベーション教育と、新しい価値を実現するためのアントレプレナーシップ教育を充実させる。
<table><tr><td>評価指標</td><td>【5-2-1】国内外のデザイン思考を用いたアイデアコンペやビジネスプランコンテスト等（デザイン思考コンテスト等）の入賞数（延べ50件）〔第４期中期目標期間中累計〕
※第３期実績 延べ36件</td></tr></table></td>
<td>・評価指標の基準値のうち、暫定値を記載していた第３期実績について、確定値に変更を行うため。</td>
</tr>
</table>

・【7-1】徳島大学のグローバル化に資する新組織の構築とグローバル人材の育成

大学間学術交流協定の締結、卒業・修了後のネットワークの充実、学生への多様な海外経験の機会の提供等を担う新組織を構築し、学生の海外留学、外国人留学生の受入やオンラインを活用した学術交流協定校との教育プログラム等を充実する。特に研究・教育水準において世界最高水準を誇るイスラエルを代表するテクニオン（イスラエル工科大学）との学術交流及び共同研究等の連携を推進するテクニオン連携室と協同し、教育力・研究力の向上と若手研究者（大学院生を含む。）の交流を実施する。

評価指標	【7-1-1】学生の海外派遣者数（年間240人）〔第４期中期目標期間 最終年度〕 ※オンライン留学を含む ※第３期最高水準 年間236人を基準とする ※第３期実績（暫定）（令和２年度まで） H28 147人、H29 191人、H30 206人、R1 236人、R2 69人
評価指標	【7-1-2】外国人留学生の受入数（年間300人）〔第４期中期目標期間 最終年度〕 ※オンライン留学を含む ※第３期最高水準 年間304人を基準とする ※第３期実績（暫定）（令和２年度まで） H28 211人、H29 266人、H30 267人、R1 304人、R2 230人
評価指標	【7-1-3】学内におけるグローバル関連プログラムの教育・研究プログラム参加者数（年間240人）〔第４期中期目標期間 最終年度〕 ※令和２年度実績第３期最高水準 年間240人を基準とする（令和元年度より集計開始） ※第３期実績（暫定）（令和２年度まで） R1 240人、R2 122人

・【7-1】徳島大学のグローバル化に資する新組織の構築とグローバル人材の育成

大学間学術交流協定の締結、卒業・修了後のネットワークの充実、学生への多様な海外経験の機会の提供等を担う新組織を構築し、学生の海外留学、外国人留学生の受入やオンラインを活用した学術交流協定校との教育プログラム等を充実する。特に研究・教育水準において世界最高水準を誇るイスラエルを代表するテクニオン（イスラエル工科大学）との学術交流及び共同研究等の連携を推進するテクニオン連携室と協同し、教育力・研究力の向上と若手研究者（大学院生を含む。）の交流を実施する。

評価指標	【7-1-1】学生の海外派遣者数（年間240人）〔第４期中期目標期間 最終年度〕 ※オンライン留学を含む ※第３期最高水準 年間236人を基準とする
評価指標	【7-1-2】外国人留学生の受入数（年間300人）〔第４期中期目標期間 最終年度〕 ※オンライン留学を含む ※第３期最高水準 年間304人を基準とする
評価指標	【7-1-3】学内におけるグローバル関連プログラムの教育・研究プログラム参加者数（年間240人）〔第４期中期目標期間 最終年度〕 ※第３期最高水準 年間240人を基準とする

・評価指標の基準値のうち、暫定値を記載していた第３期実績について、確定値に変更を行うため。

3　研究に関する目標を達成するための措置 ・【8-1】新領域を切り拓く最先端基礎研究と、萌芽・独創的研究の戦略的推進 新領域を切り拓く最先端基礎研究を推進するため、大型の競争的資金獲得・成果創出に向け、URA等による重点支援を図るとともに、分野を越えた研究者集団による研究クラスター等により、チーム研究を推進する。 また、次の研究シーズを創出する萌芽・独創的研究や、継承・発展すべき研究を戦略的に進めるため、獲得した外部資金等を更なる研究資源として研究クラスター制度の充実を図る。 評価指標：【8-1-1】常勤研究者の科研費保有率（第３期同等実績）〔第４期中期目標期間 最終年度〕 ※第３期実績（暫定）平均保有率47%（令和２年度まで） 評価指標：【8-1-2】国際学術論文（第３期実績以上）〔第４期中期目標期間中累計〕 ※第３期実績（暫定）（令和２年度まで） Nature index　150報 Cite Score 上位１％　60報 評価指標：【8-1-3】研究クラスター制度で支援をした競争的資金５千万以上の研究者数（第３期実績以上）〔第４期中期目標期間中累計〕 ※第３期実績（暫定）26名（令和２年度まで） 評価指標：【8-1-4】研究者の研究エフォートの向上のための研究支援体制の充実 URA数（第３期実績以上）〔第４期中期目標期間 最終年度〕 ※第３期実績（暫定）URA 14人	3　研究に関する目標を達成するための措置 ・【8-1】新領域を切り拓く最先端基礎研究と、萌芽・独創的研究の戦略的推進 新領域を切り拓く最先端基礎研究を推進するため、大型の競争的資金獲得・成果創出に向け、URA等による重点支援を図るとともに、分野を越えた研究者集団による研究クラスター等により、チーム研究を推進する。 また、次の研究シーズを創出する萌芽・独創的研究や、継承・発展すべき研究を戦略的に進めるため、獲得した外部資金等を更なる研究資源として研究クラスター制度の充実を図る。 評価指標：【8-1-1】常勤研究者の科研費保有率（第３期同等実績）〔第４期中期目標期間 最終年度〕 ※第３期実績平均保有率48% 評価指標：【8-1-2】国際学術論文（第３期実績以上）〔第４期中期目標期間中累計〕 ※第３期実績 Nature index　219報 Cite Score 上位１％　82報 評価指標：【8-1-3】研究クラスター制度で支援をした競争的資金５千万以上の研究者数（第３期実績以上）〔第４期中期目標期間中累計〕 ※第３期実績32名 評価指標：【8-1-4】研究者の研究エフォートの向上のための研究支援体制の充実 URA数（第３期実績以上）〔第４期中期目標期間 最終年度〕 ※第３期実績URA 14人	・評価指標の基準値のうち、暫定値を記載していた第３期実績について、確定値に変更を行うため。

<table>
<tr>
<td>

・【9-1】産官学連携研究や起業を目指す研究の推進によるSDGs達成へ貢献及びイノベーション創出

人類共通の課題解決や新たな社会的価値を創造・イノベーション創出を目指す研究、地域、企業の課題解決を図る研究等を推進するため、多様なステークホルダーとの連携により、大学の研究開発力の向上並びに民間企業等への技術移転を図る。

また、URA等による重点支援によりファンディング機関、民間企業等から外部資金を獲得し、チーム研究を推進し、新産業創出・起業に向け、知財創出やスタートアップの戦略的支援等を行う。

<table>
<tr><td>評価指標</td><td>【9-1-1】共同研究・受託研究件数（第３期実績以上）〔第４期中期目標期間中累計〕
※第３期実績（暫定）（令和２年度まで）
共同研究 1,470 件
受託研究 958 件
※再掲【1-4-1】</td></tr>
<tr><td>評価指標</td><td>【9-1-2】知的財産収入（第３期実績以上）〔第４期中期目標期間中累計〕
※第３期実績（暫定）336,717千円（令和２年度まで）
※再掲【2-1-1】</td></tr>
<tr><td>評価指標</td><td>【9-1-3】大学発ベンチャー企業創出数（年１社以上）
※第３期実績（暫定）19社（令和２年度まで）
※再掲【1-4-2】</td></tr>
</table>

</td>
<td>

・【9-1】産官学連携研究や起業を目指す研究の推進によるSDGs達成へ貢献及びイノベーション創出

人類共通の課題解決や新たな社会的価値を創造・イノベーション創出を目指す研究、地域、企業の課題解決を図る研究等を推進するため、多様なステークホルダーとの連携により、大学の研究開発力の向上並びに民間企業等への技術移転を図る。

また、URA等による重点支援によりファンディング機関、民間企業等から外部資金を獲得し、チーム研究を推進し、新産業創出・起業に向け、知財創出やスタートアップの戦略的支援等を行う。

<table>
<tr><td>評価指標</td><td>【9-1-1】共同研究・受託研究件数（第３期実績以上）〔第４期中期目標期間中累計〕
※第３期実績
共同研究 1,775 件
受託研究 1,159 件
※再掲【1-4-1】</td></tr>
<tr><td>評価指標</td><td>【9-1-2】知的財産収入（第３期実績以上）〔第４期中期目標期間中累計〕
※第３期実績 381,886千円
※再掲【2-1-1】</td></tr>
<tr><td>評価指標</td><td>【9-1-3】大学発ベンチャー企業創出数（年１社以上）
※第３期実績 23社
※再掲【1-4-2】</td></tr>
</table>

</td>
<td>

・評価指標の基準値のうち、暫定値を記載していた第３期実績について、確定値に変更を行うため。

</td>
</tr>
</table>

<table>
<tr>
<td>

・【9-2】「魅力的な大学づくり」と「光関連産業の振興」、「医光融合研究の推進」を図り、「“光”を目指して若者が集う徳島」を目指す。〔再掲【1-5】〕

徳島県では全国を上回る速度で急速に少子化、高齢化が進行し、次世代の担い手不足等の課題が深刻化している。こうした状況を打破するため、あらゆる光を駆使したボーダレスフォトニクス研究（光・ＬＥＤ）と医光融合研究を推進するとともに、徳島県が定めた次世代の光が持つ可能性を活かし、新産業の創出と優れた研究開発人材の好循環を目指す「次世代ＬＥＤバレイ構想」の下、150社を超える光関連企業が集積している本県の強みを生かし、ポストＬＥＤフォトニクス研究所を中核として、次世代ＬＥＤの研究や、それを用いた医療・農業等、様々な応用分野でグローバルに競争力を有する拠点を構築する。

<table>
<tr><td>評価指標</td><td>【9-2-1】光工学、医光融合研究等光に関連する研究分野の共同研究・受託研究数（第３期実績以上）〔第４期中期目標期間中累計〕
※第３期実績（暫定）22件（令和２年度まで）
※再掲【1-5-1】</td></tr>
<tr><td>評価指標</td><td>【9-2-2】光工学、医光融合研究等光に関連する研究分野の国際学術論文ファーストオーサー論文数（第３期実績以上）〔第４期中期目標期間中累計〕
※第３期実績（暫定）24報（令和２年度まで）</td></tr>
<tr><td>評価指標</td><td>【9-2-3】光工学、医光融合研究等光に関連する研究分野の推進のための研究支援体制の充実
URA数（第３期実績以上）〔第４期中期目標期間 最終年度〕
※第３期実績 URA 14人</td></tr>
</table>

</td>
<td>

・【9-2】「魅力的な大学づくり」と「光関連産業の振興」、「医光融合研究の推進」を図り、「“光”を目指して若者が集う徳島」を目指す。〔再掲【1-5】〕

徳島県では全国を上回る速度で急速に少子化、高齢化が進行し、次世代の担い手不足等の課題が深刻化している。こうした状況を打破するため、あらゆる光を駆使したボーダレスフォトニクス研究（光・ＬＥＤ）と医光融合研究を推進するとともに、徳島県が定めた次世代の光が持つ可能性を活かし、新産業の創出と優れた研究開発人材の好循環を目指す「次世代ＬＥＤバレイ構想」の下、150社を超える光関連企業が集積している本県の強みを生かし、ポストＬＥＤフォトニクス研究所を中核として、次世代ＬＥＤの研究や、それを用いた医療・農業等、様々な応用分野でグローバルに競争力を有する拠点を構築する。

<table>
<tr><td>評価指標</td><td>【9-2-1】光工学、医光融合研究等光に関連する研究分野の共同研究・受託研究数（第３期実績以上）〔第４期中期目標期間中累計〕
※第３期実績 31 件
※再掲【1-5-1】</td></tr>
<tr><td>評価指標</td><td>【9-2-2】光工学、医光融合研究等光に関連する研究分野の国際学術論文ファーストオーサー論文数（第３期実績以上）〔第４期中期目標期間中累計〕
※第３期実績24報/年</td></tr>
<tr><td>評価指標</td><td>【9-2-3】光工学、医光融合研究等光に関連する研究分野の推進のための研究支援体制の充実
URA数（第３期実績以上）〔第４期中期目標期間 最終年度〕
※第３期実績 URA 14人</td></tr>
</table>

</td>
<td>

・評価指標の基準値のうち、暫定値を記載していた第３期実績について、確定値に変更を行うため。

</td>
</tr>
</table>

<table>
<tr>
<td>

・【10-1】地域や地元企業の抱える課題から研究シーズを抽出し、専門性を越えて活躍する若手研究者や、萌芽・独創的研究、新領域を切り拓く若手研究者の育成

専門性を深めるとともに、企業、地域の課題に直接触れる機会や企業との協働研究等への参画を通じて専門性を越えて活躍する若手研究者を育成するとともに、競争的資金獲得、成果創出を重点的に支援し、萌芽・独創的研究、新領域を切り拓く若手研究者を育成する。

また、博士課程学生の奨学金やTA・RA制度の充実など、インセンティブの拡大を図るとともに、産業界や地域社会とも連携してキャリアパスの開拓、流動性の向上、外部資金の活用による若手研究者の自立的・安定的なポストの確保など、若手研究者が自らの希望や適性に応じて活躍する場を創出する。

<table>
<tr><td>評価指標</td><td>【10-1-1】若手研究者スタートアップ支援制度（若手研究者表彰制度）、Ｔ３（徳島大学テニュアトラック教員育成支援制度）の拡充（表彰制度採択件数及びＴ３採用人数を第３期実績以上）〔第４期中期目標期間中累計〕
※第３期実績（暫定）（令和２年度まで）
表彰制度採択件数　27 件
Ｔ３採用人数　13 人</td></tr>
<tr><td>評価指標</td><td>【10-1-2】博士課程学生への経済的支援制度（ゆめ奨学金、フェローシップ制度等）の拡充（経済的支援制度の利用者数を第３期実績以上）〔第４期中期目標期間中累計〕
※第３期実績（暫定）（令和２年度まで）
ゆめ奨学金　241 人
フェローシップ　8 人</td></tr>
<tr><td>評価指標</td><td>【10-1-3】博士課程学生の専門性を活かした分野への就職率（第３期同等実績）〔第４期中期目標期間 最終年度〕
※第３期実績（暫定）97%（令和２年度までの平均値）</td></tr>
</table>

</td>
<td>

・【10-1】地域や地元企業の抱える課題から研究シーズを抽出し、専門性を越えて活躍する若手研究者や、萌芽・独創的研究、新領域を切り拓く若手研究者の育成

専門性を深めるとともに、企業、地域の課題に直接触れる機会や企業との協働研究等への参画を通じて専門性を越えて活躍する若手研究者を育成するとともに、競争的資金獲得、成果創出を重点的に支援し、萌芽・独創的研究、新領域を切り拓く若手研究者を育成する。

また、博士課程学生の奨学金やTA・RA制度の充実など、インセンティブの拡大を図るとともに、産業界や地域社会とも連携してキャリアパスの開拓、流動性の向上、外部資金の活用による若手研究者の自立的・安定的なポストの確保など、若手研究者が自らの希望や適性に応じて活躍する場を創出する。

<table>
<tr><td>評価指標</td><td>【10-1-1】若手研究者スタートアップ支援制度（若手研究者表彰制度）、Ｔ３（徳島大学テニュアトラック教員育成支援制度）の拡充（表彰制度採択件数及びＴ３採用人数を第３期実績以上）〔第４期中期目標期間中累計〕
※第３期実績
表彰制度採択件数　32 件
Ｔ３採用人数　14人</td></tr>
<tr><td>評価指標</td><td>【10-1-2】博士課程学生への経済的支援制度（ゆめ奨学金、フェローシップ制度等）の拡充（経済的支援制度の利用者数を第３期実績以上）〔第４期中期目標期間中累計〕
※第３期実績
ゆめ奨学金　315 人
フェローシップ　32人</td></tr>
<tr><td>評価指標</td><td>【10-1-3】博士課程学生の専門性を活かした分野への就職率（第３期同等実績）〔第４期中期目標期間 最終年度〕
※第３期実績 98%</td></tr>
</table>

</td>
<td>

・評価指標の基準値のうち、暫定値を記載していた第３期実績について、確定値に変更を行うため。

</td>
</tr>
</table>

4　その他社会との共創、教育、研究に関する重要事項に関する目標を達成するための措置 **・【11-1】海外大学を含む他大学、他研究機関のそれぞれの研究領域、人的、施設設備等の強みを相互補完し、共同利用・共同研究、協働研究等を通じ、単独ではなし得なかった発展的な成果を創出する。** 本学の独創的な新興・融合分野の研究推進の核となる、先端酵素学研究所（全国共同利用・共同研究拠点認定）をはじめとした各研究所の研究インフラを高度化するとともに、学内連携にとどまらず国内外の大学や研究機関、産業界等との組織的な連携や個々の大学の枠を越えた共同利用・共同研究等を推進し、国内外におけるプレゼンスを向上させる。 また、本学の産学連携基盤を基軸として、自治体や地域企業など多様なステークホルダー参加型の産学共創拠点を形成し、SDGsに基づく将来のあるべき社会像の実現に向け、研究開発を推進する。 評価指標：【11-1-1】共同利用・共同研究件数（第３期実績以上）〔第４期中期目標期間中累計〕 ※第３期実績（暫定）157 件（令和２年度まで） 評価指標：【11-1-2】研究設備・機器の共用化率（500万円以上）（第３期実績以上）〔第４期中期目標期間 最終年度〕 ※第３期実績 共用化率55％	**4　その他社会との共創、教育、研究に関する重要事項に関する目標を達成するための措置** **・【11-1】海外大学を含む他大学、他研究機関のそれぞれの研究領域、人的、施設設備等の強みを相互補完し、共同利用・共同研究、協働研究等を通じ、単独ではなし得なかった発展的な成果を創出する。** 本学の独創的な新興・融合分野の研究推進の核となる、先端酵素学研究所（全国共同利用・共同研究拠点認定）をはじめとした各研究所の研究インフラを高度化するとともに、学内連携にとどまらず国内外の大学や研究機関、産業界等との組織的な連携や個々の大学の枠を越えた共同利用・共同研究等を推進し、国内外におけるプレゼンスを向上させる。 また、本学の産学連携基盤を基軸として、自治体や地域企業など多様なステークホルダー参加型の産学共創拠点を形成し、SDGsに基づく将来のあるべき社会像の実現に向け、研究開発を推進する。 評価指標：【11-1-1】共同利用・共同研究件数（第３期実績以上）〔第４期中期目標期間中累計〕 ※第３期実績 225 件 評価指標：【11-1-2】研究設備・機器の共用化率（500万円以上）（第３期実績以上）〔第４期中期目標期間 最終年度〕 ※第３期実績 共用化率55％	・評価指標の基準値のうち、暫定値を記載していた第３期実績について、確定値に変更を行うため。

・【12-1】安心・安全な高度先端医療の提供と開発

徳島大学病院は県内唯一の特定機能病院として、ロボット手術、ハイブリッド手術、カテーテル手術を積極的に導入し、低侵襲かつ高精度の医療を実施している。また、臨床研究・治験の実施を通して、新たな診断法・治療法の開発に取り組んでいる。第４期中期目標期間においても、これらの取り組みを推進し、安心・安全な高度先端医療を提供する。

評価指標	【12-1-1】低侵襲医療の実施症例件数（2,800件）〔第４期中期目標期間中累計〕 ※過去最高実績となる令和２年度実績 400件を基準とし、約15%増を目標とする
評価指標	【12-1-2】特定臨床研究及び治験実施件数（延べ500件以上）〔第４期中期目標期間中累計〕 ※第３期実績（暫定）約80件/年（令和２年度まで）
評価指標	【12-1-3】査読のある雑誌に掲載された英語論文数（2,000件）〔第４期中期目標期間中累計〕 ※附属病院関係を対象とし、共著を含む ※第３期実績（暫定）約330件/年（令和２年度まで）
評価指標	【12-1-4】新規に導入した内視鏡・画像診断技術の項目数 （９件）〔第４期中期目標期間中累計〕 ※第３期実績（暫定）９件（令和２年度まで）

・【12-2】高度医療人の育成

県内唯一の特定機能病院として、高度医療に関する研修を通して専門医・指導医を育成するとともに、看護部・薬剤部・医療技術部においても高度専門技能者の養成を進める。特に徳島大学病院の特徴であるトレーニングプログラムの積極的活用を通した人材育成を推進する。

評価指標	【12-2-1】新規専門医・指導医の取得者数（400人）〔第４期中期目標期間中累計〕 ※第３期実績（暫定）（令和２年度まで）の約60人/年を基準とし、10%増を目標とする。
評価指標	【12-2-2】低侵襲トレーニングプログラム修了者数（延べ1,200人）〔第４期中期目標期間中累計〕 ※直近３カ年（平成30年度～令和２年度）実績の約175人/年を基準とし、15%増を目標とする。
評価指標	【12-2-3】高度専門技能者の養成（各種認定制度による養成者数）（延べ60人）〔第４期中期目標期間中累計〕 ※直近実績（令和２年度）10人を基準とする。

・【12-1】安心・安全な高度先端医療の提供と開発

徳島大学病院は県内唯一の特定機能病院として、ロボット手術、ハイブリッド手術、カテーテル手術を積極的に導入し、低侵襲かつ高精度の医療を実施している。また、臨床研究・治験の実施を通して、新たな診断法・治療法の開発に取り組んでいる。第４期中期目標期間においても、これらの取り組みを推進し、安心・安全な高度先端医療を提供する。

評価指標	【12-1-1】低侵襲医療の実施症例件数（2,800件）〔第４期中期目標期間中累計〕 ※過去最高実績となる令和２年度実績 400件を基準とし、約15%増を目標とする
評価指標	【12-1-2】特定臨床研究及び治験実施件数（延べ500件以上）〔第４期中期目標期間中累計〕 ※第３期実績約83件/年
評価指標	【12-1-3】査読のある雑誌に掲載された英語論文数（2,000件）〔第４期中期目標期間中累計〕 ※附属病院関係を対象とし、共著を含む ※第３期実績約355件/年
評価指標	【12-1-4】新規に導入した内視鏡・画像診断技術の項目数 （９件）〔第４期中期目標期間中累計〕 ※第３期実績９件

・【12-2】高度医療人の育成

県内唯一の特定機能病院として、高度医療に関する研修を通して専門医・指導医を育成するとともに、看護部・薬剤部・医療技術部においても高度専門技能者の養成を進める。特に徳島大学病院の特徴であるトレーニングプログラムの積極的活用を通した人材育成を推進する。

評価指標	【12-2-1】新規専門医・指導医の取得者数（400人）〔第４期中期目標期間中累計〕 ※第３期実績約60人/年を基準とし、10%増を目標とする。
評価指標	【12-2-2】低侵襲トレーニングプログラム修了者数（延べ1,200人）〔第４期中期目標期間中累計〕 ※直近３カ年（平成30年度～令和２年度）実績の約175人/年を基準とし、15%増を目標とする。
評価指標	【12-2-3】高度専門技能者の養成（各種認定制度による養成者数）（延べ60人）〔第４期中期目標期間中累計〕 ※直近実績（令和２年度）10人を基準とする。

・評価指標の基準値のうち、暫定値を記載していた第３期実績について、確定値に変更を行うため。

・評価指標の基準値のうち、暫定値を記載していた第３期実績について、確定値に変更を行うため。

<table>
<tr>
<td>

・【12-3】地域医療及び健康危機管理拠点としての機能強化

社会に開かれた病院として地域貢献を行うため、地域の特性や医療需要を踏まえ、ICT（Information and Communication Technology）等を活用した地域ネットワークによる連携事業と院内の診療科横断的連携の強化により、地域医療及び健康危機管理拠点としての基盤整備及び人材育成を行う。

<table>
<tr><td>評価指標</td><td>【12-3-1】医師会・自治体との連携事業（医師会・自治体等が行う事業へ参画する項目数）（延べ41件）〔第４期中期目標期間 最終年度〕
※第３期実績（暫定）28件（令和２年度まで）</td></tr>
<tr><td>評価指標</td><td>【12-3-2】拠点病院としての診療科横断的な医科・歯科連携による活動実績（診療科横断的な医科・歯科連携の取組み項目数）（延べ10件）〔第４期中期目標期間 最終年度〕
※第３期実績 ５件</td></tr>
<tr><td>評価指標</td><td>【12-3-3】隣接する徳島県立中央病院との協定に基づく「総合メディカルゾーン」を活用した連携事業（延べ15件）〔第４期中期目標期間 最終年度〕
※第３期実績 12件</td></tr>
<tr><td>評価指標</td><td>【12-3-4】ICT等を利用した遠隔診断実績（実施項目数：７件）〔第４期中期目標期間 最終年度〕
※第３期実績 ４件</td></tr>
<tr><td>評価指標</td><td>【12-3-5】地域枠医師の配置数（500人以上）〔第４期中期目標期間 最終年度〕
※地域医療機関における業務従事期間の医師のみを計上
※第３期実績 延べ252人
※再掲【1-3-4】</td></tr>
</table>

</td>
<td>

・【12-3】地域医療及び健康危機管理拠点としての機能強化

社会に開かれた病院として地域貢献を行うため、地域の特性や医療需要を踏まえ、ICT（Information and Communication Technology）等を活用した地域ネットワークによる連携事業と院内の診療科横断的連携の強化により、地域医療及び健康危機管理拠点としての基盤整備及び人材育成を行う。

<table>
<tr><td>評価指標</td><td>【12-3-1】医師会・自治体との連携事業（医師会・自治体等が行う事業へ参画する項目数）（延べ41件）〔第４期中期目標期間 最終年度〕
※第３期実績 33件</td></tr>
<tr><td>評価指標</td><td>【12-3-2】拠点病院としての診療科横断的な医科・歯科連携による活動実績（診療科横断的な医科・歯科連携の取組み項目数）（延べ10件）〔第４期中期目標期間 最終年度〕
※第３期実績 ５件</td></tr>
<tr><td>評価指標</td><td>【12-3-3】隣接する徳島県立中央病院との協定に基づく「総合メディカルゾーン」を活用した連携事業（延べ15件）〔第４期中期目標期間 最終年度〕
※第３期実績 12件</td></tr>
<tr><td>評価指標</td><td>【12-3-4】ICT等を利用した遠隔診断実績（実施項目数：７件）〔第４期中期目標期間 最終年度〕
※第３期実績 ４件</td></tr>
<tr><td>評価指標</td><td>【12-3-5】地域枠医師の配置数（500人以上）〔第４期中期目標期間 最終年度〕
※地域医療機関における業務従事期間の医師のみを計上
※第３期実績 延べ252人
※再掲【1-3-4】</td></tr>
</table>

</td>
<td>

・評価指標の基準値のうち、暫定値を記載していた第３期実績について、確定値に変更を行うため。

</td>
</tr>
</table>

・【16-2】多様なメディアによる積極的な情報発信により、多くのステークホルダーから理解と支持を得る。 支持者層や年齢層に応じた多様なメディアにより大学の特色や活動を積極的に情報発信するとともに、双方向の対話の機会を設けるなど、ステークホルダーからの理解と支持を高める。 評価指標：【16-2-1】SNSフォロワー数（第３期終了時に比して10％超）〔第４期中期目標期間 最終年度〕 ※第３期実績（暫定）1,460件（令和４年１月現在） 評価指標：【16-2-2】ホームページ閲覧等数（第３期実績以上）〔第４期中期目標期間中累計〕 ※第３期実績（暫定）約１千５百６十万件（平成２８年４月～令和４年１月まで） 評価指標：【16-2-3】取材発信、メディア掲載数（第３期終了年度の令和３年度実績に比して３％超）〔第４期中期目標期間中 最終年度〕 ※第３期実績（令和３年度暫定）824件（令和３年４月～令和４年１月） 評価指標：【16-2-4】シンポジウム等開催件数及び総参加者数（第３期実績以上）〔第４期中期目標期間中累計〕 ※第３期実績（暫定）（令和２年度まで） 開催件数　89回 参加者数 10,271人	・【16-2】多様なメディアによる積極的な情報発信により、多くのステークホルダーから理解と支持を得る。 支持者層や年齢層に応じた多様なメディアにより大学の特色や活動を積極的に情報発信するとともに、双方向の対話の機会を設けるなど、ステークホルダーからの理解と支持を高める。 評価指標：【16-2-1】SNSフォロワー数（第３期終了時に比して10％超）〔第４期中期目標期間 最終年度〕 ※第３期実績 1,873件（令和４年３月末） 評価指標：【16-2-2】ホームページ閲覧等数（第３期実績以上）〔第４期中期目標期間中累計〕 ※第３期実績 約１千６百４十万件 評価指標：【16-2-3】取材発信、メディア掲載数（第３期終了年度の令和３年度実績に比して３％超）〔第４期中期目標期間中 最終年度〕 ※第３期実績（令和３年度）965件 評価指標：【16-2-4】シンポジウム等開催件数及び総参加者数（第３期実績以上）〔第４期中期目標期間中累計〕 ※第３期実績 開催件数　110回 参加者数 11,850人	・評価指標の基準値のうち、暫定値を記載していた第３期実績について、確定値に変更を行うため。

<table>
<tr>
<td>
Ⅴ　その他業務運営に関する重要事項に関する目標を達成するためにとるべき措置
・【17-1】デジタル技術の活用による業務の最適化及び効率化
　様々な業務作業に伴う現場担当者の負担軽減を図るべく、電子申請化及びRPA等の自動化・電子化によりDXを推進する。また、サービス向上の一方策として窓口業務（対面相談）のオンライン化についても推進する。
<table>
<tr><td>評価指標</td><td>【17-1-1】電子申請化及びRPA等による自動化・電子化業務数（50件以上）〔第４期中期目標期間中累計〕
※第３期実績（暫定）25件</td></tr>
<tr><td>評価指標</td><td>【17-1-2】学生窓口業務のオンライン化推進状況（学生用オンライン窓口を10ヶ所以上開設）〔第４期中期目標期間中累計〕</td></tr>
</table>
・【17-2】情報セキュリティの維持・向上
　業務継続性を図るためのファイルサーバ環境並びにテレワーク用クライアント環境を整備する。
　大学としての情報セキュリティ維持・向上を図るため、セキュリティ監査（技術的な脆弱性調査、組織的な情報セキュリティ監査）と個人毎の自己点検と教育・訓練を定期的（年１回以上）に実施する。
<table>
<tr><td>評価指標</td><td>【17-2-1】脆弱性指標における高リスク項目を調査時点で全体の 16%以内に抑制〔第４期中期目標期間中 毎年度〕
※第３期実績（暫定）平均値（約 11%）に毎年度変動分を５％として 16%以内と設定する</td></tr>
</table>
</td>
<td>
Ⅴ　その他業務運営に関する重要事項に関する目標を達成するためにとるべき措置
・【17-1】デジタル技術の活用による業務の最適化及び効率化
　様々な業務作業に伴う現場担当者の負担軽減を図るべく、電子申請化及びRPA等の自動化・電子化によりDXを推進する。また、サービス向上の一方策として窓口業務（対面相談）のオンライン化についても推進する。
<table>
<tr><td>評価指標</td><td>【17-1-1】電子申請化及びRPA等による自動化・電子化業務数（50件以上）〔第４期中期目標期間中累計〕
※第３期実績 26件</td></tr>
<tr><td>評価指標</td><td>【17-1-2】学生窓口業務のオンライン化推進状況（学生用オンライン窓口を10ヶ所以上開設）〔第４期中期目標期間中累計〕</td></tr>
</table>
・【17-2】情報セキュリティの維持・向上
　業務継続性を図るためのファイルサーバ環境並びにテレワーク用クライアント環境を整備する。
　大学としての情報セキュリティ維持・向上を図るため、セキュリティ監査（技術的な脆弱性調査、組織的な情報セキュリティ監査）と個人毎の自己点検と教育・訓練を定期的（年１回以上）に実施する。
<table>
<tr><td>評価指標</td><td>【17-2-1】脆弱性指標における高リスク項目を調査時点で全体の 16%以内に抑制〔第４期中期目標期間中 毎年度〕
※第３期実績平均値（約 11%）に毎年度変動分を５％として 16%以内と設定する</td></tr>
</table>
</td>
<td>
・評価指標の基準値のうち、暫定値を記載していた第３期実績について、確定値に変更を行うため。
</td>
</tr>
</table>

別表１　学部、研究科等及び収容定員

学部	総合科学部	680人
	医学部	1,342人
	歯学部	315人
	薬学部	480人
	理工学部	2,450人
	生物資源産業学部	406人
	（収容定員の総数）	5,673人
研究科等	創成科学研究科	891人
	医学研究科	224人
	口腔科学研究科	88人
	薬学研究科	116人
	医科栄養学研究科	71人
	保健科学研究科	69人
	総合科学教育部（R4募集停止）	0人
	先端技術科学教育部（R4募集停止）	0人
	（収容定員の総数）	
	修士課程	948人
	博士課程	511人

別表１　学部、研究科等及び収容定員

学部	総合科学部	680人
	医学部	1,354人
	歯学部	315人
	薬学部	480人
	理工学部	2,570人
	生物資源産業学部	406人
	（収容定員の総数）	5,805人
研究科等	創成科学研究科	891人
	医学研究科	224人
	口腔科学研究科	88人
	薬学研究科	116人
	医科栄養学研究科	71人
	保健科学研究科	69人
	総合科学教育部（R4募集停止）	0人
	先端技術科学教育部（R4募集停止）	0人
	（収容定員の総数）	
	修士課程	948人
	博士課程	511人

医学部：
令和５年度までの期間を付した地域の医師確保等の観点からの医学部入学定員の暫定増に伴う収容定員の変更

理工学部：
「令和５年度の魅力ある地方大学の実現に資する地方国立大学の定員増」による理工学部入学定員の増に伴う収容定員の変更